

No.  
149

# とうきょうの 地域教育

～豊かな出会いと学びを～

p.2-7



人生100年  
時代の  
社会人  
基礎力

総合学科高校における NPO 等と連携した  
社会人基礎力向上事業

p.8 情報クリップ

Action



Thinking



Teamwork



# 総合学科高校におけるNPO等と連携した 社会人基礎力向上事業

～「人生100年時代の社会人基礎力」を身に付けるためには～

2022(令和4)年4月からの民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられました。その一方で、公益財団法人日本財団が実施した「18歳意識調査 第46回-国や社会に対する意識(6カ国調査)-報告書」\*1によれば、自身と社会の関わりについて、「自分は大人だと思う」や「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」と回答した人が3割に満たず、他の国に比べて低いことがわかりました。社会貢献活動や社会課題に取り組みながら、社会参加意識を高めていくことがより一層求められています。

2006(平成18)年に経済産業省が提唱した「社会人基礎力」では、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力として、右図の3つの能力を育成することが重要であるとされています。また、2018(平成30)年には「人生100年時代の社会人基礎力」として、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら、目的、学び、統合の3つの視点のバランスを図るという観点が追加され、一人ひとりが「自分のキャリアは自分のものである」と意識することが大切であるとされています。

東京都教育委員会では、本年度から都立総合学科高校2校において「総合学科高校におけるNPO等と連携した社会人基礎力向上事業」を実施しています。この事業では、「地域教育推進ネットワーク東京協議会」\*2の会員団体である青少年教育支援NPO等が、総合学科特有の学校設定科目「産業社会と人間」のカリキュラムづくりや「課題研究」に取り組む個々の生徒の学びをサポートします。また、放課後や土日、長期休業期間を使って高校生自身が社会参画プロジェクトを企画するPBL(Project Based Learning)を通じて、社会人基礎力を育成します。総合学科高校は、従来、キャリア教育を通して、一人ひとりの進路希望や興味関心に応じて多様な教科・科目を主体的に選択履修できる学校です。総合学科高校での学びをNPO等が支援し、発展・応用させ、実践的・体験的な学習を通して、「生きる力」の育成を目指していきます。

今回の特集では、本年度の4月に都立王子総合高校と都立世田谷総合高校で実施したキックオフイベントである「ODセミナー」と「フレッシュマンセミナー」の授業の様子などを御紹介します。

**OD(王子総合ディスカッション)セミナーとは**  
 毎年4月に新入生を対象に、自分の考えを相手に伝え、他者の意見を受け入れる態度の育成やクラス内の親睦、総合学科の学びの理解等を目的に、自己・他者理解のワークショップ、ディベート、クラスレク等を実施しています。 **4-5ページへ**

**フレッシュマンセミナー(世田谷総合高校)とは**  
 毎年4月に新入生を対象に、校内での集団活動を通して、自己や他者理解を行い、高校生活への意識と自覚を高めることを目的に、今後の学習方法や進路選択に向けた考え方を講義・研修を通して学びます。 **6-7ページへ**

\*1 日本財団「18歳意識調査 第46回-国や社会に対する意識(6カ国調査)-報告書」(2022年)

\*2 地域教育推進ネットワーク東京協議会  
 企業・大学・NPO等とのネットワークをつくり、子供たちに豊かで、多様な体験学習活動が提供できるようにサポートし、活性化していく仕組みづくりを目指して、東京都教育委員会が2005(平成17)年8月に設置。現在、600を超える企業・大学・NPO等が登録。  
<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/schooling.html>



経済産業省ホームページ「人生100年時代の社会人基礎力」  
<https://www.meti.go.jp/policy/kisouyoku/>



## 事業実施校・協力団体の紹介

### 東京都立 王子総合高等学校



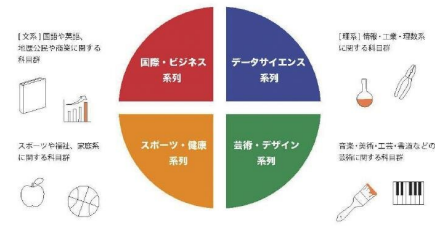
学校 HP

#### スクールミッション

社会の変化に主体的に対応し、社会や世界と関わり、生涯に渡って豊かに生きる力の育成を教育目標とし、総合学科の特色を生かした多様な選択科目の設置や体系的なキャリア教育を通じて、グローバルな視野で将来にわたって目標を追究し、その実現に向けて努力を続ける生徒を育成します。



#### 選択科目の一覧



### 協力団体 一般社団法人 Fora



NPO HP

設立 2016年4月1日

代表理事 藤村琢己

ミッション 教育を人生に統合する

キーンコンセプト 「仮決め」

#### 主要事業

- キャリアセミナー：4年間で、60校 30,000名以上の生徒を対象に実施
- 探究学習事業：自分なりの問いを持ち、探究する生徒を育てる過年支援
- ファシリテーター育成事業：教える側の「ファシリテーション能力」の向上を目指す

#### 代表プロフィール

**藤村琢己 (ふじむら たくみ)**  
 1990年生。2016年から、大学生の生の話を聞ける「進路の授業」を開始。2018年10月～2019年2月には、経済産業省「未来の教室」実証事業に参画。Fora設立後も、教育の社会的意義の探究を継続。学校教育を通して「学び続ける意欲と能力」を育みたいと考え、「キャリア教育」×「探究学習」の事業やコンテンツを提供。

### 東京都立 世田谷総合高等学校



学校 HP



YouTube

#### スクールミッション

「学力の伸長、自己理解の追求、国際的視野の涵養」を教育目標とし、進路探索学習、ものづくり体験学習、身近な地域の環境、文化、福祉などの学習、ビジネスや情報学習といった教育活動を通じて、様々な分野で創造できる生徒、様々な人と協調して社会に貢献できる生徒、困難に挑戦し、課題解決できる生徒を育成します。



#### 選択科目の一覧



### 協力団体 一般社団法人 WillDoor



NPO HP

設立 2015年5月14日

共同代表理事 竹田和広、武口翔吾

ビジョン 一人ひとりが、「自分」と「社会」と共に生きられる未来

ミッション 「与える大人」視点(学校や社会等)ではなく「主役たる高校生」の視点できっかけをデザインし、「自ら選び、学び、変わる自由」に寄り添える環境を創る

#### 主要事業

- 全国高校生マイプロジェクトアワード関東事務局
- MAKERS UNIVERSITY U18
- ワンダリングチャレンジ for school
- willdoor Forum Fes Compass

#### 代表プロフィール

**竹田和広 (たけだ かずひろ)**  
 1992年生。高1で参加した学校外のイベントにて様々な同世代の高校生や地域の社会人と出会い、「起業」|「地域活性化」に関心をもち、東日本大震災をきっかけに、複数地域で地域活動に従事しながら地域の若者を輝かせるポテンシャルを築く。2015年、横須賀で行った高校生向けイベント企画をきっかけに創業。

# ODセミナー ~ Design Your Dream ~

王子総合高校では、4月25日(火)・26日(水)に、1年生237名を対象としたODセミナーが行われました。



最初はクラスの人たちと仲良くなるか心配だったけど、1日目で楽しく交流できたので良かった。

アイスブレイクとして、4択クイズや「7色自己紹介」(相手が初対面、80歳、3歳、外国人の場合を想定した自己紹介)を行いました。

演劇の手法を活用したゲームなどのコミュニケーション、関係づくり、チームビルディング等のワークショップを行いました。この時間を通して同級生と話すきっかけができ、生徒一人一人がクラスの中で発言しやすい雰囲気を作ることができました。

※本ワークショップは、NPO法人ドラマケーション普及センターが講師を担当しました。

苦手ではあるけれど、コミュニケーションが取れた。



## プログラムの流れ

オリエンテーション

▶ ドラマケーション  
みんなで作ろう  
「クラスの和(輪)」

▶ 自己理解&相互理解ワークショップ

▶ キャリア  
ワークショップ

▶ ストーリーテリング  
(大学生の話を書く)

▶ 選択科目  
仮決めワーク

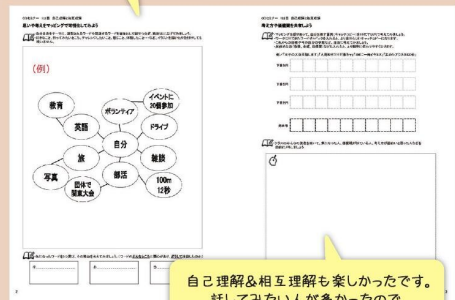
▶ まとめ&振り返り

## day1 4月25日(火)

1コマ目は、自分自身をテーマに、連想されるワードや関連するワードを書き出して線でつなぎ、マッピングする作業を行いました。そこから気になったワードを3つ選び、どこなところに関心があり、どうして注目したのかを考え、最後に、自分を表す言葉(キャッチコピー)を10文字以内で表現しました。生徒の皆さんは、好きなこと、将来の夢、自分の性格などについて、粹いばいに埋め、上手に10文字にまとめることができました。特に、「推し」に関するワードがたくさん登場しており、皆さんの好きなことへのエネルギーが伝わってきました。

2コマ目は、一人ずつ、クラス全員の前で作成したマッピングを見せながら、1分間のプレゼンテーションを行いました。知り合ったばかりの同級生の前で自分のことを発表するのは勇気があることもありませんが、全員が一斉懸命話し、そして周りの発表を聞いていたのが印象的でした。「友運作りを頑張りたい」という声も多くありましたが、このワークショップを通じて相互理解を深めたことで、同級生と仲良くなる良いきっかけができたのではないのでしょうか。

一言自己紹介などで、クラスメイトとの仲が深まった。



自己理解&相互理解も楽しかったです。話してみたい人が多かったので、話しかけたいと思えた。

クラスの人のことを良く知ることができ、仲をより深められた。自分のことも多くの人に知ってもらえた。



## day2 4月26日(水)

話を聞いてみたい大学生を3人選び、学問、大学生活(サークル・アルバイト等)、受験勉強などについて、20分ずつお話を聞きました。大学生は、難しい学問知識について身近な事例から分かりやすく解説したり、専門分野を活かしてデザインに凝ったスライドを見せたりしながら、いきいきと語ってくれました。座談会の質疑応答の時間では、生徒の皆さんは大学生の話に引き込まれた様子で、時間が足りなくなってしまうほどたくさんの質問が寄せられました。

普段なかなか聞くことが出来ないリアルな声が聞けて、とてもいい刺激になった。今までは、絶対に専門学校に行こうと思ってたけど、大学に行くメリットも知ることが出来てよかった。

今まで考えてこなかった学部に興味を持つことができたので、しっかり自分自身で決断できるように頑張りたいと思った。

大学生の話聞き、自分が好きな方に進めているのを見つめなおせてよかった。もっといろんな人の話を聞きたいです。



大学について詳しく知ることができ、なぜその大学に決めたかなどの理由が知れた。また、高校生のうちにやっておいた方がよいことなどについても、聞くことができた。



## 王子総合高校 榎野治和校長からのメッセージ

このODセミナーのアンケートでは、すべての生徒が好意的に評価していたので、当初のねらいは達成できたと考えています。2日間のうち、1日目は自己理解と人間関係づくり、2日目は今後の自分自身のキャリアについて考える、という明確なプログラムができました。前者に関して、出身中学・地域もバラバラな子どもたちが、自分から話しかける垣根が一気に低くなり、仲良くなるきっかけを作れたので良かったです。後者については、1年生の4月の段階から自分のキャリアを意識することができました。特に「選択科目仮決めワーク」を通して、生徒が総合学科を選んだ理由の「選択科目が多い」「学びたい科目がある」という期待に応える形で、進路に向き合う機会ができました。今回のセミナーでは、Foraさんの協力のおかげで大学生を呼ぶのが良かったです。普段は上の世代とのつながりといえば、親か先生、部活動でも1、

2歳上の先輩に限られます。本来一番近い目標であるはずの「ナナメの関係」にあたる大学生と関わる機会ができたのは大きかったです。総合学科では、選択科目が多いため、今後のキャリアに深く関わる高校3年間を、「自分は将来何になりたいのか」「何に向いているのか」を考えながら過ごせるのが魅力です。AI化やグローバル化が進む現代では、コミュニケーション能力、思考力、問題解決能力といった「見えにくい学力」が重要です。これらの能力は何回も訓練することが必要ですが、「産業社会と人間」や「課題研究」を通して鍛えることができるのも、総合学科ならではの強みです。今の成績で考えるのではなく、本校のコンセプトである「Design Your Dream」自分の夢をかなえたい、そう願っている中学生にぜひ入学してもらいたい学校です。

自分の受けた授業が、決めることができてよかった。

選択科目仮決めが、2年生にむけての練習になってとてもよかった。



将来の為に役に立つ授業を選択しようと思った。

校長先生の総評を聞き、セミナーを通じて見つけた自分の興味関心や、これから高校生活でやってみようと思ったことについて考えました。

# フレッシュマンセミナー ～宝のカギが見つかる場所～

世田谷総合高校では、4月27日(木)・28日(金)に、1年生237名を対象としたフレッシュマンセミナーが行われました。

クラスや出身中学が異なる人同士で4人1組になり、グループで校舎を回りながら、自分の価値観を問う「究極の2択」の質問に答えました。ライフデザイン棟、情報デザイン棟、ものづくり棟、陶芸棟など、世田谷総合高校ならではの施設は、歩き回るだけでも探検の気分です。

**流れ** 指定されたルートで教室へ行き、「お題カード」を2枚ひく  
 →お題への回答とその答えにした理由を、グループ全員で共有  
 →4教室を回ったら、終了

**お題の例** ・好きになった人が実は火星人 「付き合う」「付き合わない」  
 ・どっちが欲しい? 「最優先と2人で過る3時間」・「老後の保障」

体育館に戻った後は、仕事・家庭・友達・恋愛・お金についての考えをふせんに書き、全員が横造紙に貼って共有しました。話したことのないメンバーで、中学校まではなかったような教室に行き、考えたことのない質問に答えていく。様々な初めてのことに取り組んだこのワークの中で、たくさんの新しい発見があったのではないのでしょうか。



分身ロボット OriHime を提供する株式会社オリ研究所の方から、御自身の経験についてお話を聞きました。

## プログラムの流れ



お題スタンプラリー

〔講演〕  
株式会社オリ研究所

〔講演〕  
MAKERS UNIVERSITY  
出張授業

今日の振り返り  
「宝のカギ」探し

自分探しミッション

自分探しミッションの  
振り返り

キャリア/  
高校生活を考える  
ワーク

相互発表・応援ワーク

## day1 4月27日(木)

起業やプロジェクトに取り組む大学生・若手社会人から、取り組んでいる問題意識やその原体験などのお話を聞きました(20分×2人)。その後、メッセージカードを記入して個別に意見交換をしました。あるゲストは「自分は目立ちたくないけれど、世の中の役に立ちたい。だから、このNPOの活動を始めた」と語ってくれました。自分の志をもって人生を切り開き、理想とする未来の実現に向けて挑戦する先輩たちの姿を見て、良い刺激になったことでした。

集まったゲストの例(キーワードを#ハッシュタグで記載)

- ・#スポーツ#ハンドボール#車いすバスケットボール#バリンピック#パラスポーツ#障害者#多様性#ドイツ#留学#韓国アイドル
- ・#建築#ジーンズ#アート#料理#サウナ#デザイン#まちづくり
- ・#ピラティス#パーソナルトレーナー#看護師#産前産後#旅#アメリカ横断#バスケット
- ・#ワガママに生かされる#愛で溢れるカオスな社会を創る

自分の意思をしっかりとって行動する姿に惹かれて、自分もそうなりとうと自信が持てました。

これからの人生において大切だと思ったことについて書き出しました。

自分らしさを大切にすることや、「半径50cmを渡るアクション」を起こすことの大切さ



周りに流されず自分の軸を持つこと、自分のやりたいことを諦めないこと

## willdoor NPO 担当者の想い

世田谷総合高校は「宝のカギが見つかる場所」として、校長先生を中心にキャリア教育を大切にしています。そのスタートがフレッシュマンセミナーであり、先生方と打ち合わせを重ね、「宝のカギ」につながるキャリアや高校生活への自分の想い・キーワードを自ら探し2日間としてプログラム設計をしました。

1日目はインプットを重視しました。ヤングケアラーの過去を持ち「孤独を救いたい」とキャリアを歩む講演者や、自分の想いを軸に「他にはない新たな選択肢」を選び、突き進む若手起業家の言葉から、生徒は「感じてはいけない感情はない」「主語は自分」など自分の考えを大切にすることを受け取っていました。2日目はアウトプットを重視しました。「自分の夢を伝え5人から応援してもらう」「1年以内にやり

たいことを30個リストアップする」等のミッションを自分で選んで挑戦し、「自分が思っている以上に自分にはできることがある」「いざ行動してみると上手くいったり発見がある」など、「やってみる」ことで得られる気づきを言葉にしていました。

2日間自分と向き合う時間を過ごした結果、事後アンケートでは生徒の9割近くが「自分がキャリアや進路を考えるうえで大切にしたいことやキーワードが見つかった」と回答し、自らの考えを軸に積極的に学校生活を過ごしたいというコメントが多く見られました。「自分で選び・学ぶ」ことができる総合学科高校で、生徒それぞれがキャリアや高校生活に持つ「自分の想い」を軸に、チャレンジや探究を重ねる後押しができたのではないかと考えております。

## day2 4月28日(金)

2日間を振り返って、グループで「自分が欲しい未来」を考えました。横造紙の半分に「私がこうあったらいいと思う/ワクワクする未来」を、残り半分には「ワクワクする高校生活/こうあったらいい高校生活」を、できるだけたくさん書き出しました。そして、ほしい未来・ほしい高校生活を表すキーワードを選び、「高校時代にチャレンジしたいこと・経験したいこと」を考えました。最後に、グループ内でお互いの考えを共有し、応援のコメントを送り合いました。

今までは現実ばかり見て、やりたいことを自分から諦めていることがあったけど、話を聞いたりして、自分でチャンスを逃したり、諦めるのは良くないなって思った。

新しい気付きの一つとして、将来の目標や信念が思いつかなかったときは明日〇〇を頑張ろう、など些細なことから考え始めていんだと今回のフレッシュマンセミナーで気付かされた

友達の意見を聞いて自分の意見を整理したら今の自分の目標がわかった



## 世田谷総合高校 佐藤信孝校長からのメッセージ

今回、今までやることがないような活動を通じて、生徒には高校生活への期待や達成感を持たせることができたと思います。また、NPOと連携したことで教員の刺激になり、プログラムの質も上がりました。例えばMAKERS UNIVERSITYのように、これだけ多様な人たちを短期間にニーズに合わせて集めるのは、ウィルドアの力があってこそできたことでした。

今後は、NPOの協力を得ながら社会参画に資する科目を新たに設定し、コミュニケーション能力の中でも「観察力」「質問力」「プレゼン力」に特化して育成していきたいと考えています。実践的な社会体験を通じて、社会人基礎力を育成するプラットフォームにしてほしいです。相手をよく観察して「この人はなぜこんな話をしているのかな?」「本当にそうなのかな?」と問いを立てて質問したり、発信したりできるだけで、

自分を助けてくれます。ここで鍛えた力が、最終的には総合型選抜にも生きてくるでしょう。

世田谷総合高校には、全日制普通科高校にはないような施設・設備があり、それを活用してもつくりや国際交流が非常に結びついていきます。「将来どんな仕事をしよう」「自分にはどんな適性があるんだろう」というのを、本校の特色ある活動を通して考えることが出来ます。自分の高校時代を充実させたいと思う皆さんにはぜひ本校に入学してほしいです。また、総合学科ならではのいろいろな活動を通して、日常の小さなことでも裏に込められた意味に気づき、喜びを感じられるようにもなります。例えば、国際交流の中でフェアトレードについて勉強し、現地から直接購入したコーヒーを飲むなど。学力ももちろん大切ですが、こういったことこそ、本当の豊かさにつながるでしょう。

## 「100人と写真を撮ろう!」

取り組んだ生徒のコメント

- そのミッションに挑戦しようと思った理由  
→色んな人とのかかわりを増やしたいから!
- 感想  
→大変だったけど、みんな優しくてノリ良く一緒に撮ってくれました!



## 「世田谷のロゴ、キャラクターを描いてみよう!」

取り組んだ生徒のコメント

- 世田谷らしさを存分に引き出せるよう、世田谷のことを考えながらやった
- 自分的にできはどうだったのか?  
→いい!とても上手くできた気がする



BumB (ぶんぶ) 東京スポーツ文化館  
高校生世代チャレンジプログラム

「2030年にむけて「いま」きみができること」をテーマに、SDGsのコンセプトに沿って、未来につなげるためにできることは何か、何をすべきなのかを考え、立案から計画の作成、実施までの一連の取り組みを全て自力で行う社会的起業体験プログラムです。

日 時：令和5年10月29日(日)～  
令和6年2月18日(日) (全11回)  
募集人員：20名(原則、都内在住・在学・在勤の高校生世代またはそれに準じる年齢の個人又は団体)

受講・活動場所：1回目・2回目・7回目・8回目と11回目：東京スポーツ文化館  
それ以外：オンラインでの受講や活動可能な場所  
7回目的夜：東京スポーツ文化館に宿泊

参加費：無料。交通費・通信費等は自己負担。1回目2回目7回目8回目と11回目は弁当持参。但し、レストランでの昼食や弁当を注文することも可能。宿泊時の7回目的夕食1,400円と8回目朝食660円は別途予約が必要。

申込み：HPのエントリーフォームから申込下さい。  
【10月10日(火)必着】  
※詳細はHPを御覧ください。

問合せ先 東京スポーツ文化館  
〒136-0081 東京都江東区夢の島2-1-3  
電話：03-3521-7323  
ホームページ：http://www.ys-tokyo.co.jp/



高尾の森わくわくビレッジ  
ひとり親家庭のための わいわい1泊会

高尾の森わくわくビレッジの宿泊室に泊まりながら、レクリエーションや調理プログラム、キャンプファイヤーなど様々なプログラムに取り組み1泊2日のイベントです。

親子で一緒に過ごす時間もありますが、子どもたちは高尾の森わくわくビレッジで活動しているボランティアのお兄さんやお姉さんと遊んで、大人は交流の時間として情報交換をする時間もあります。

日 時：令和5年11月18日(土)～19日(日)  
全 場：高尾の森わくわくビレッジ  
募集人数：小学生のひとり親家庭 20組(子どもはきょうだいでの参加も可)  
※応募者多数の場合は抽選。

参加費：親7,700円 子6,050円 (1泊4食付き)  
申込み(応募方法)：往復ハガキに郵便番号、住所、参加者全員の氏名(フリガナ)、年齢(学年)、電話番号をご記入の上、〒193-0821 東京都八王子市川町55 高尾の森わくわくビレッジまでお送りください。

※応募期限 9月1日(金)～10月9日(月) 当日消印有効

問合せ先 高尾の森わくわくビレッジ(担当：副館長)  
〒193-0821 東京都八王子市川町55  
電話：042-652-0911  
ホームページ：https://www.wakuwaku-village.com  
アクセス：京王線/JR中央線「高尾駅」北口バスのりばから西東京バス14分



東京都立中央図書館

企画展示  
「本でたどるエジプト  
—古代文明から現代の暮らしまで—」

エジプトの魅力や日本との関わりについて、当館の所蔵資料や、大使館などからお借りした写真パネル等を通してご紹介いたします。  
あわせて、民族衣装の試着やヒエログラフの体験コーナーも用意いたします。

日 時：令和5年8月4日(金)～  
10月4日(水)まで  
10:00～20:45まで(土日祝は17:30まで)  
【期間中の休館日：8月18日(金)、9月7日(木)、9月15日(金)】

会場：東京都立中央図書館 4階 企画展示室 入場料：無料  
協 賛：エジプト大使館文化・教育・科学局  
協 力：独立行政法人国際協力機構(JICA)

問合せ先 東京都立中央図書館  
〒106-8575 東京都港区南麻布5-7-13  
電話：03-3442-8451(代表)  
ホームページ：https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/  
アクセス：東京メトロ日比谷線「広尾駅」下車 徒歩8分  
都営地下鉄大江戸線「麻布十番駅」下車 徒歩20分



東京都立多摩図書館

企画展示  
「みなさんの選書を応援します  
—都立多摩図書館のおすすめ本—」

子供としかかわる「みなさん」に向けて、都立多摩図書館がおすすめの本を一挙に公開します！  
展示では、「読み聞かせABC」や「TAMAselction」などの都立多摩図書館作成冊子などに掲載された本を取り上げ、小中学生や高校生、特別支援学校生が楽しめる本を紹介いたします。

この夏、都立多摩図書館で子供の本の情報収集をしませんか？

日 時：令和5年7月22日(土)～9月30日(土)まで  
会 場：1階 展示エリア

問合せ先 東京都立多摩図書館  
〒185-8520 東京都国分寺市泉町2-2-26  
電話：042-359-4109  
ホームページ：https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/



公益財団法人東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター

東京都立埋蔵文化財調査センター 令和5年度企画展示「多摩新街遺跡切抜帖—新聞にのった遺跡たち—」

多摩ニュータウン建設に伴う遺跡調査は40年間行われ、調査された遺跡は770ヶ所にも及びます。そのなかで当時新聞に報道された注目された遺跡をとりあげ、その調査成果や現在の様子を紹介いたします。

開催期間：令和5年3月21日(火)～令和6年3月7日(木)まで  
開催時間：9:30～17:00(11から2月は遺跡庭園のみ16:30まで)  
休 館 日：10月27日(金)、11月27日(月)、2月5日(月)、年末年始(12月29日(金)～1月3日(水))  
入 館 料：無料

関連企画  
第2回文化財講演会「多摩ニュータウン開発の経緯について(仮)」

日 時：10月21日(土) 13:30～15:30  
講 師：桜美林大学教授 金子 淳氏  
募集人員：90名(どなたでもご参加いただけます)  
申 込：往復はがきまたは、ホームページ内イベント申込入力フォームにより10月3日(火)までに必需でお申込み下さい。応募多数の場合は抽選。

企画展示解説会

日 時：10月28日(土) 10:00～11:00  
募集人員：10名程度(どなたでもご参加いただけます)  
申 込：当日受付 開始時間までに展示ホール受付にご来場ください。

問合せ先 東京都埋蔵文化財センター(担当：広報学芸) (平日のみ 9:00～17:00)  
〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2  
電話：042-373-5296  
ホームページ：https://www.tomaibun.jp/  
アクセス：京王線・小田急線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車 徒歩5～7分

